福岡EU協会会報 Fukuoka EU Association Vol.62 2019

Twelve Stars



©European Union,2019

活動報告 **福岡EU協会 令和元年度 総会・理事会ほか**

EUを知る パトリシア・フロア駐日欧州連合(EU)大使のご紹介

ヨーロッパのワイン 「ボージョレ・ヌーヴォーの美味しさについて」

リビング in EU シャニス・ソーリー・ヨハンセンさん(ノルウェー)

見たい! 知りたい! EU 九州大学EUセンター

福岡EU協会では、福岡県とEUの相互理解や友好を促進するため、年間を通して文化、経済など幅広い分野においてさまざまな交流、活動を行っています。今年度の活動の様子やイベント等のご案内をします。

福岡EU協会 令和元年度 総会・理事会

日　時　2019年7月2日(火)18:00～18:30
場　所　西鉄グランドホテル「プレジール」
参加者　52名

総会・理事会では、前年度事業報告・決算、今年度事業計画・予算について審議が行われ、すべての議案において、原案どおり承認されました。



総会・理事会の様子

福岡EU協会主催　懇親会ワインパーティ

日　時　2019年7月2日(火)18:30～20:00
場　所　西鉄グランドホテル「プレジール」
参加者　128名

懇親会は、久保会長のご挨拶で開会し、遠藤幹事長のご発声で乾杯しました。本年は、2年に1度EU諸国を訪問するEUミッションの開催年のため、訪問国のオーストリア、イタリア、ベルギーにちなんだお食事とワインやビールを会場に準備し、参加者の皆様に楽しんでいただきました。

歓談中は、訪問国の一つでもあるイタリア ローマご出身で、イタリア会館・福岡副館長のレオナルド・マローネ氏をお迎えし、ローマの街歩きの楽しみ方や食文化についてお話しいただき、参加者の皆様に訪問国の魅力に触れる機会となりました。最後には、18の法人会員企業様より提供していただいた59の協賛品の抽選会を行い、久保会長に抽選をしていただいて、会場は大いに盛り上がりました。


懇親会の様子


久保会長のご挨拶


遠藤幹事長による乾杯


料　理



ワイン


ビール


料　理

懇親会
ワインパーティ


抽選会の様子


福岡EU協会ブース


イタリア会館・福岡副館長レオナルド・マローネ氏による講演


抽選会の協賛品



今後のイベントのご紹介

「EUのクリスマス」2019年12月21日(土)開催予定

福岡在住のEU加盟国出身者に、自国のクリスマスの様子や特徴などを紹介してもらいます。日本とは違ったEU諸国のクリスマスを知ることができるイベントです。

「第11回福岡で楽しむEU」2020年2月4日(火)開催予定

在福EU加盟国友好団体等とのコラボレーションイベントです。会場内に参加団体のブースを設置し、各団体の活動の様子を紹介します。また、その国にちなんだお食事やお飲み物を楽しめる、魅力満載のイベントです。



EUを知る

パトリシア・フロア駐日欧州連合（EU）大使のご紹介

駐日欧州連合代表部広報部



●駐日欧州連合代表部広報部

駐日EU代表部は、EUの政策、日・EU関係、イベントなど、情報の発信を、ウェブサイト、オンライン広報誌『EUMAG』、フェイスブック、ツィッター、インスタグラムを通じて、ますます充実させていきますので是非フォローをお願いします。

ウェブサイト●http://www.euinjapan.jp/
オンライン広報誌 EU MAG●http://eumag.jp
フェイスブック●http://www.facebook.com/euinjapan
ツイッター●https://twitter.com/EUinJapan
インスタグラム●https://www.instagram.com/euinjapan/

今回は、間もなく来日から1年を迎えるパトリシア・フロア駐日欧州連合（EU）大使についてご紹介します。

フロア大使は、2018年9月に来日し、11月22日の信任状捧呈式をもって正式に駐日EU大使に就任しました。初めての女性の駐日EU大使です。

幼いころから、休暇のたびに家族で欧州大陸のさまざまな国を訪れていた大使は、欧州の歴史や文化に大変興味を持ち、母国語のドイツ語のほか、英語、フランス語、ロシア語に堪能で、また、ジョージア語も話します。政治とメディアに関心があった大使は、社会人になり、ジャーナリストの道を歩み始めました。そうした中、フリーランスの記者として半年滞在することとなった米国で外交官と交流する機会があり、職業としての外交官に興味を抱くようになったのです。数年後モスクワで学術研究を行っていた際に、ソビエト連邦の崩壊を目の当たりにし、この先もさまざまな出来事について報道記事を書くことを続けたいのか、時には自身が積極的に交渉に参加する側になってみるのはどうか、と考えるようになり、結果、外交官の道を選んで今日に至っています。

大使は、ドイツの外交官として、国連やドイツ外務省に勤務し、EUの中央アジア特別代表を務めるなど、数々の要職を歴任してきました。そうした経験を経て、個人的に、日本の外交官たちと非常に良好な関係を持てたこと、そしてさまざまな協議で日本を訪れた際に、ぜひこの国に住んで、もっと深く知りたいと思ったのがきっかけとなり、また、それ以上に、職業的見地から「日本とEUの政治的関係が重要な分岐点にある今こそ!」という思いがあり、駐日EU大使のポストを自ら希望し、来日しました。

日・EU関係は、本年2月の経済連携協定（EPA）と戦略的パートナーシップ協定（SPA）という2つの歴史的協定の発効により、新たな時代を迎えました。大使は、今後、相互の関係はより質の高い、深いものになっていくと考えており、EUと同じ考えを有する日本と協力して、ルールに基づく国際秩序を守るという、現状では難しくなっていることに協力して取り組んでいくことが非常に大事だと語っています。

私生活では、音楽が好きで、趣味でピアノを弾き、スポーツはスキーや特にハイキングも好きな大使は、日本アルプスをはじめとする日本の山々に登ったり、山中のお寺やお城を訪ねたりしてみたいと考えています。また、来日してからは、大相撲にも興味を持つようになりました。

ますます忙しく、刺激的になる日・EU関係の中で、フロア大使は、個人的なレベルで関係を築くことを楽しみにしています。



パトリシア・フロア駐日欧州連合（EU）大使



シュードルのニコラ

ヨーロッパのワイン
European wine

「ボージョレ・ヌーヴォーの美味しさについて」



弊社のヌーヴォーを30年にわたって作っていただいている
ドメーヌの社長と一緒に自慢の畑の中で

毎年11月の第3木曜日に飲酒が解禁されるフランス・ボージョレ地区の出来立てのワインのことをボージョレ・ヌーヴォー（ボージョレ地区の新酒）と呼びます。日本は、時差の影響で世界で一番早くこの瞬間を迎えるために80年代には、大きなブームになりました。その時代は、いち早く飲むことが美味しい秘訣のように語られ、それから何十年経った今でも、ヌーヴォーというとどれも似たような味わいで早飲みの美味しさとは無縁のワイン!とよく言われます。でも実は、ヌーヴォーも作り手の経験や技術、畑や醸造環境によって味わいは、全く異なります。

そもそもボージョレ・ヌーヴォー醸造の歴史は、収穫した葡萄を急いでワインにする必要があったため、通常の醸造法ではなく蓋付発酵機の中で葡萄を圧搾せず自然に発酵させワインを醸造するマセラシオンカルボニック製法が用いられるようになりました。この発酵方法は、タンク内に葡萄を積み上げ押しつぶされた下部の葡萄から発生した二酸化炭素によって発酵を進め、約1ヶ月ほどでワインが出来上がります。この場合、果実と果汁が一体になって発酵をする点が味わいの決め手になります。そのため葡萄は、できるだけ完熟するまで収穫時期を見極め収穫後は、速やかにタンクへ運び発酵。発酵後は、できるだけ果実と触れ合う時間を設け、出荷までのタイミングをみてこの果汁の上澄みのところだけをギリギリの時期に瓶詰。決して果実をギュウギュウと搾って雑味の部分を混ぜないことも大切です。慎重にタイトなスケジュールの中で一瞬の気も抜けないまま出荷を行う。これが上質なヌーヴォーが生まれるまでの工程です。もちろん環境に恵まれた畑とそこから生まれる質の良い手摘みの葡萄は、不可欠ですが。これほどの手間暇と情熱をかけたヌーヴォーは、大量に醸造することができませんが、その味わいは、格別です。解禁日のお祭りでカジュアルに楽しむ方法も良いのですが、この美味しさを堪能するためにオススメしたいことがあります。解禁日には、輸入されたばかりでフレッシュさが魅力的に感じられますが、様々な食材が食卓に並ぶクリスマスやお正月にこそふさわしいと思います。その頃には、ヌーヴォーも落ち着き味わいに深みが増しています。私のオススメは、2月か3月の春先に春の食材と合わせて楽しむことです。重すぎずエレガントに成長したヌーヴォーは、最良の組み合わせです。もちろん丁寧な作りのヌーヴォーの場合についてですが。ぜひ解禁日だけではないヌーヴォーの魅力を見つけてみてください。



ヌーヴォー専用の発酵タンク。
この醸造所には、通常の発酵タンクとヌーヴォー専用タンクがそれぞれ何台も用意されています。



出来立てのヌーヴォーの色味や香り、発酵状態を確認しているニコラです。
※今年のものではありません



Sudre Nicolas シュードル ニコラ

1965年、フランスのボルドー市生まれ。AES JAPONCo.Ltd（株）（ワイン輸入総合会社）代表取締役社長。Poujat Freres（株）（Fines Wines Merchant since 1910）代表取締役社長。コマンドリー・ド・ボルドー福岡副会長。ボルドー・ボンタンコマンドリー（ボルドーワイン醸造者の会）の最年少会員。1998年、福岡よかトピア博覧会のボルドー館館長として来福。1991年より、（株）岩田屋の食品輸入部門担当として入社。以後、ヨーロッパ各国のワインを、世界中を巡り、買付けを行う。オリジナルブランド：ニコラセレクションを設立し、九州におけるワインブームの火付け役となる。ワインセミナー等も開催しワイン文化の普及にも努める。2007年7月、フランス政府より日本におけるフランスワインの普及に努めた証として農事功労勲章を受章。その後ワイン文化を広めるワイン伝道師として幅広く活躍。
http://nicolasgourmet.com/

Living in EU
リビング

福岡県内に在住しているヨーロッパ出身の学生に、
自国の生活について、社会、教育、福祉などの視点から
経験したことや感じたことを語っていただきました。

「ノルウェー人からみる日本のリサイクル」

私が日本に来日してから日々の生活で、新たに困惑することは毎週のようにあります。

私が福岡の西南学院大学に留学することを決めたのは、自分にチャンレンジしたかったからです。来日前は日本語を話すことが全く出来なかったので、それも生活に困惑することの一つです。しかし私が苦戦していることは言語以外にもあります。来日当初、ごみの分別方法が分かりませんでしたが、母国ノルウェーとあまり変わらないかなと思い、まずはごみをプラスチック、紙類、ボトル瓶、一般ごみの4種類に分けましたが、それらは結局2種類に分けられていたことに驚きました。

私と多くのノルウェーの人たちは自然を愛する文化に育てられ、地球と自然を保護することに大きな関心を持っています。ノルウェーでは、ほとんどのごみをリサイクルします。一般ごみ、生ごみ、プラスチック、紙類、金属、ガラスに分けて、ごみ収集車で回収されるか、ごみを直接地元のごみ捨て場に捨てます。そのごみ捨て場をノルウェー語で“miljøstasjoner”と呼びますが、直訳すると「環境ステーション」です。私は、日本のごみ処理の、燃えるごみ、燃えないごみ、リサイクルがペットボトルとガラスのみという仕組みの理解に苦しんでいます。地球温暖化、アマゾン森林火災、動物種の減少等、私たちが直面している問題は、ごみのリサイクルをすることが、これらの問題を減らすことのできる重要な方法の一つになります。紙とプラスチックは再利用することもできますし、ノルウェーでは牛乳箱やプラスチックごみを、もっとリサイクルしようというコマーシャルもあります。

お互いから学び合い、地球にやさしい環境作りのために、一緒に地球を守りましょう。



Chanice Sørlie Johansen

シャニス・ソーリー・ヨハンセンさん

私はノルウェーから来たシャニス・ソーリー・ヨハンセンです。西南学院大学の交換留学生です。小学校の先生になるために勉強しています。自分の人生経験のために今学期、日本留学を決めました。私自身が全く違う文化と学校制度を体験することで、将来私が教師になった時、ノルウェー以外の文化圏から来た生徒の気持ちがより理解できるようになると思います。

三谷幸喜が書き下ろす、
若き日のシャーロック・ホームズ。

愛と哀しみの
シャーロック・ホームズ

作・演出
三谷幸喜

柿澤勇人　佐藤二朗　広瀬アリス
八木亜希子　横田栄司　はいだしょうこ　迫田孝也
音楽・演奏 荻野清子



2019.10.12sat12:30 ・13sun12:30
久留米シティプラザ ザ・グランドホール
福岡県久留米市六ツ門町 8-1 ☎ 0942-36-3000（代表）

チケット料金（全席指定・税込）
S席 10,800円　A席 7,800円　B席 5,800円
※未就学児入場不可
※車椅子でご来場のお客様は、事前にお問合せ先までご連絡ください。

インプレサリオ シャーロックホームズ

《お問合せ》インプレサリオエンターテインメント
☎ 092-985-8955（平日 10:00 ～ 18:00）

主催：RKB毎日放送／インプレサリオエンターテインメント　共催：久留米シティプラザ（久留米市）　企画制作：ホリプロ

見たい！知りたい！EU

今回は、九州大学EUセンターをご紹介します。

●九州大学EUセンター


▲EU研修旅行

九州大学のEUセンターは、2011年4月から2016年3月までの5年間は「EUIJ九州」、また2016年9月から2019年8月までの3年間は「ジャンモネCoE九州」の運営母体として、欧州委員会（European Commission）からの資金援助のもと、教育、研究、アウトリーチ、学術交流などの事業を行ってまいりました。

今後は、教育活動を主軸として、これまで同様に九州大学においてEU研究ディプロマプログラム（EU-DPs）を提供してまいります。EU-DPsは、EU研究のためのディシプリン横断型の学際的でユニークな教育プログラムで、地域統合を通じて経済社会の発展を追求してきたEUや、そうした統合の背後にあるヨーロッパの歴史・思想・科学技術などを、広く・深く学ぶことができます。


JMCoE-Q市民講座▶

●EU研究ディプロマプログラム（EU-DPs）

EU研究ディプロマプログラム（EU-DPs）は、九州大学に在籍中の学生が、卒業・修了のための必要単位を満たしながら、EU（欧州連合）についての体系的な学習、研究を行うプログラムです。

EU-DPsの目的は、EU-DPsとして開放されている科目を計画的に習得することによって、EUの制度、機能、歴史などの基本的知識を習得すること、特定の分野・課題の研究を通じて、EUについての学問的な理解を深めることです。

学部レベルと大学院（修士課程）レベルを対象として、それぞれの修了要件を満たした学生には、「EU研究ディプロマプログラム修了証書」が授与されます。



▲EU-DPs修了証書

また、九州大学EUセンターでは、福岡EU協会との共催イベントを実施しています。毎年12月にこくさいひろば（アクロス福岡3F）で行われる「EUのクリスマス」では、九州大学で学ぶEU加盟国出身の留学生が、母国のクリスマスの様子を紹介します。これまで、ドイツ、フランス、スペイン、イギリス、スウェーデン、ベルギー、ルーマニア、チェコなど、さまざまな国の留学生の話を聞きました。



EUのクリスマス▶

当プログラムを修了した修了者の声をご紹介します。

【学部コース修了・Oさん】

私は入学後すぐにEU-DPsの存在を知り、1年次からプログラム科目を履修していました。入学前からEU及びヨーロッパについて勉強してみたいと考えていたため、本プログラムのような制度が整っている本学は非常に恵まれていたと感じます。特に私が在学していた4年間で、Brexitやフランス・パリを中心としたテロなど、ヨーロッパを取り巻く情勢は大きく変化しました。その中で本プログラムを活用し、EUの歴史や現在の社会情勢等を学ぶことが出来たのは、非常に貴重な経験になりました。

【修士コース修了・Mさん】

私はEU-DPsの修士課程コースを履修しました。私は現在、博士後期課程の学生としてEU経済についての研究をしていますが、振り返ると、EUについての体系的な学習、研究を行う機会を提供するプログラムであるEU-DPsは、非常に有益なものでした。というのも、EU経済だけでなく、歴史や法律といった他学部の講義も受講可能で、様々な視点からヨーロッパを勉強・理解する機会を、EU-DPsでは提供してくれるからです。このような様々な視点は、リサーチペーパーや修士論文を執筆する際に大きな助けとなりました。また、EUセンターではEU各国のクリスマスの様子を紹介するイベントも開催しており、ヨーロッパ文化の理解を深める非常に良い機会となっています。

お問い合わせ
九州大学EUセンター
〒819-0395　福岡市西区元岡744
TEL.092-802-2190　FAX.092-802-2187
http://eu.kyushu-u.ac.jp/indexjp.html

Sky presents
渦が森団地の眠れない子たち
藤原竜也と鈴木亮平が挑む、蓬莱竜太新作舞台!!
2019.10.26(土)12:30/17:30・27(日)12:30
鳥栖市民文化会館 大ホール　佐賀県鳥栖市宿町807番地17　☎0942-85-3645
インプレサリオ うずだん

チケット料金：S席10,800円　A席8,500円（税込・全席指定）【WEB】インプレサリオON-LINEチケット（座席選択可）
※未就学児入場不可　※車椅子でご来場のお客様は、事前にインプレサリオまでご連絡ください。【電　話】092-985-8955（平日10:00～18:00/初日のみ電話受付可）
主催：RKB 毎日放送／インプレサリオ／鳥栖市／鳥栖市教育委員会／鳥栖市文化事業協会　特別協賛：Sky　企画制作：ホリプロ
《お問合せ》インプレサリオ
☎ 092-985-8955（平日10:00～18:00）

福岡EU協会 会員だより

「EUと私」

皆様は、マデイラ諸島を御存知でしょうか。風光明媚なこの諸島は、亜熱帯性気候に属し、美しい植物に恵まれ、大西洋の真珠とも呼ばれて、多くの観光客が訪れています。この諸島は、ポルトガル領に属し、地理的には、リスボンの南西約1000㎞、モロッコの西方の大西洋上に位置しています。食前酒やデザートワインとしても有名なマデイラ・ワインは、この島の特産でもあります。また、歴史的には、かの有名なコロンブスが、この諸島の二つのポルトサント島の領主の娘と結婚し、この諸島に暮らして、地理や航海術等を学んだことでも知られています。

このように、マデイラ諸島は、豊かな自然や興味深い歴史を有し、観光地として有名なのですが、実は、あまり知られていないこともあります。それは、このマデイラ諸島には、世界有数の経済特区が置かれているということです。

私は、大学で、商法や会社法や金融商品取引法等の他に、経済特区法制も研究していますが、そこでは、広く、企業が様々な活動を行うにあたってのルールとなる企業法が対象となります。そして、経済特区とは、一般的に、国家の領域内の一定地域において、他の地域では享受することができないような税制上の優遇措置や規制緩和等を施すことにより、例えば、企業を集中的に誘致するための仕組等のことをいいます。

そこで、このような理由から、これまでに、海外の経済特区の調査等にも従事してきましたが、マデイラ諸島にも、2回程、訪れたことがあります。また、EU域内には、経済特区そのものの他に、経済特区に関連の深い機関等も少なからず置かれていますが、これまでに、アイルランド、フランス、オーストリア、ドイツ（訪問順）等にも、調査に訪れました。

そうした数々の調査の中で、大変印象深かったこととして、忘れられないことがあります。それは、上述したマデイラ諸島の経済特区を調査した際のことですが、その調査の中で、経済特区の成功のポイントを質問したときに、「それは、EUと法制度のおかげです」との回答が、即座に、そして、力強く返ってきたことでした。その回答の中に、人々の暮らしと地域の在り方と法が密接に結びついていることを、大変印象深く感じました。

今後とも、企業法の研究を通して、EUについての考察をさらに深めてゆきたいと存じます。



徳本 穣（とくもと みのる）

九州大学大学院法学研究院教授。福岡市出身。1990年3月、九州大学法学部卒業。その後、九州大学大学院法学研究科にて、修士（法学）及び博士（法学）、米国イェール大学ロースクールにて、LL.M.の学位をそれぞれ取得。米国イェール大学ロースクールにて、客員研究員、文部省在外研究員。筑波大学大学院教授・企業科学専攻長を経て、2018年4月より、現職。専攻分野は、商法、会社法、金融商品取引法、経済特区法制、国際企業法等。（公社）福岡国際ミズの会会長等を兼務。

■福岡EU協会 会員募集のご案内

福岡EU協会はEU文化セミナーや講演会、会員対象の懇親会などを開催し、福岡県とEUの相互理解と友好を深めています。当協会では随時個人・法人会員を募集しています。魅力ある特典をご用意してお待ちしておりますので、ぜひご入会ください。

●会員特典

①福岡EU協会が主催・協賛するセミナーや講演会・親睦会への参加
②最新のEU情報の提供
　会報「Twelve Stars」のお届け

年会費（税込）	個人会員（1口）／3,000円	法人会員（1口）／20,000円

※詳しくは福岡EU協会HPをご覧ください。http://fukuoka-eu.com/

■広告掲載のご案内

福岡EU協会会報「Twelve Stars」では広告を募集しております。
※詳しくは福岡EU協会事務局までお問い合わせください。

福岡EU協会事務局　お問い合わせ

〒810-0001　福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡8F
（公財）福岡県国際交流センター「企画交流部」内
TEL：092-725-9204　FAX：092-725-9205
E-mail：fukuoka-eu@kokusaihiroba.or.jp

〒810-8720　福岡市中央区渡辺通2-1-82
九州電力株式会社
ビジネスソリューション統括本部
地域共生本部 地域振興グループ内
TEL：092-726-1564　FAX：092-726-1564

福岡EU協会 会報「Twelve Stars」vol.62

発　行／福岡EU協会事務局
発行日／令和元年10月15日
発行部数／2,000部
印　刷／（株）ゼンリンプリンテックス

©福岡EU協会事務局
※本誌掲載記事・写真等の無断転載及び複写はご遠慮ください



2019 福岡音楽の秋 フェスティバル

ラファウ・ブレハッチ
ピアノリサイタル

2019年11月12日（火）19:00開演［18:30開場］福岡シンフォニーホール
（アクロス福岡1階 福岡市中央区天神1-1-1）

全席指定 6,000円（学生券3,000円）

※曲目が変更となる可能性がございます。予めご了承ください。　※未就学児入場不可（託児サービスあり/要・事前予約）
※学生券は、小～大学生等及び留学生本人に限り表記料金にて販売するものです。お申込みは、アクロス福岡チケットセンターに限ります。また、購入に際しましては学生証等が必要です。

［主 催］RKB毎日放送 / 福岡県 / 福岡市 / （公財）アクロス福岡 / （公財）福岡市文化芸術振興財団 / 「福岡・音楽の秋」実行委員会
［共 催］福岡EU協会

［お問合せ］アクロス福岡チケットセンター TEL：092-725-9112